、下線…学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動

…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動

2年

※年度末の学習内容が指導しきれなかった場合には、次年度に送ることも考えられる。

※上級学年に指導内容を送った場合には教員間でしっかりと引継ぎをすること

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
しせいと　えんぴつの　もちかた (P2-5) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ(ア) ○文字を書くことに適した姿勢と鉛筆の持ち方を理解することができる。	適宜	適宜	○教師の実演や、教科書に示されている写真、絵を見たりしながら、書字に適した姿勢と鉛筆の持ち方を理解し、その型をとる。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 書字に適した姿勢や鉛筆の持ち方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 合い言葉や写真を見て、書字に適した姿勢や鉛筆の持ち方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字を丁寧に書くために、書字に適した姿勢や鉛筆の持ち方を実践しようとしている。
いろいろな　ひっきぐ (P5) ○鉛筆以外の様々な筆記具で文字を書くことができる。	適宜	適宜	○様々な筆記具で書かれた文字を確かめながら、線の表現に違いが出ることを理解する。 ○書字に適した姿勢と筆記具の持ち方を意識して、様々な筆記具で文字を書く。	【知識・技能】 筆記具によって、線の表現に違いが出ることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りにある筆記具で文字を書くと、どのような表現の線になるか、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書字に適した姿勢と筆記具の持ち方を意識して、様々な筆記具で文字を書こうとしている。
学しゅうの　すすめ方 (P6-9) ○書字の課題を、自分で考えたり他者と話し合ったりして解決する書写学習の方法を理解することができる。	適宜	適宜	○書写学習の一連の流れを知り、自学自習や他者との意見交換を通して、効果的に学習する方法を理解する。 ○各学習において、適宜確かめる。	【知識・技能】 書写学習に適した学習方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 自分の課題がどのように学習することで解決できるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活でも整った文字を書けるように、「学しゅうの　すすめ方」を実践しようとしている。
一　一年生で　学しゅうした　こと (P10-13) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ(イ)(ウ) ○一年生で学習したことを想起して書くことができる。	2	1 1	○一年生で学習したことを振り返り、それを意識して文字を書く。 ○一年生で学習したことを生かして、なぞり書きをする。	【知識・技能】 一年生で学習したことを活用して書く必要があるということを理解している。 【思考・判断・表現】 一年生で学習したことをどのように活用すればよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 一年生で学習したことを活用して文字を書こうとしている。
二　にて　いる　文字 (P14-15) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ(イ)(ウ) ○書き方が似ている文字どうしの違いを理解し、書くことができる。	3	3	○似ている平仮名と片仮名、片仮名と漢字をなぞったり書いたりして、書き方の違いを理解する。 ○似ている片仮名「ソ」「ン」、「ツ」「シ」をなぞったり書いたりして、画の方向の違いを理解する。 ○点画の書き方や画の長さ・方向の違いに注意して、「ナ」と「メ」、「チ」と「千」を書く。	【知識・技能】 それぞれの文字に、書き方の違いがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの文字の書き方の違いはどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 書き方の違いを意識して、文字を書こうとしている。
三　かん字の　ひつじゅん (P16-17) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ(イ) ○漢字の筆順の法則を理解して書くことができる。	3	3	○「台」「外」「午」などをなぞったり書いたりして、漢字の筆順の法則を理解する。 ○漢字の筆順の法則に注意して、「買」「姉」「毛」「週」を書く。	【知識・技能】 漢字の筆順には、法則性があることを理解している。 【思考・判断・表現】 漢字ごとにどのような法則があるのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 法則を意識して、筆順通りに漢字を書こうとしている。
四　画の　長さと　方こう(画の長さ) (P18-19) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ(ウ) ○画の長さの違いに注意して、漢字を書くことができる。	2	2	○「言」「止」「多」などをなぞったり書いたりして、画の長さの違いに気をつけて書く必要があることを理解する。 ○画の長さの違いに注意して、「書」「池」「冬」を書く。	【知識・技能】 画の長さの違いに注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 どの画の長さに注意すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 画の長さの違いを意識して、漢字を書こうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
四　画の　長さと　方こう（画の方向） (P20-21) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ウ） ○点画の方向の違いに注意して、漢字を書くことができる。	2	2	○「図」「形」「点」「心」などをなぞったり書いたりして、「折れ」「払い」「点」「反り」など、点画の方向の違いに気をつけて書く必要があることを理解する。 ○点画の方向の違いに注意して、「用紙」「麦茶」を書く。	【知識・技能】 点画の方向の違いに注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 どの点画の方向に注意すればよいか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 点画の方向の違いを意識して、漢字を書こうしている。
五　文字の形 (P22-23) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（イ） ○文字の外形を理解して書くことができる。	3	3	○「門」「四」「月」などをなぞったり書いたりして、様々な外形を理解する。 ○文字の外形に注意して、「市外」「弓矢」「大工」を書く。	【知識・技能】 文字には外形があることを理解している。 【思考・判断・表現】 どの外形に合うように書けば文字が整うのか、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外形を意識して文字を書こうとしている。
六　文字の中心 (P24-25) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ウ） ○文字の中心に注意して、漢字を書くことができる。	3	3	○「交」「合」「来」「弓」の▼と▲を線でつなぎ、文字の中心の捉え方を理解する。 ○文字の中心の捉え方に注意して、「光」「星」「何」を書く。	【知識・技能】 文字には、中心を捉えるための目安になる部分があるということを理解している。 【思考・判断・表現】 文字の中心の目安になる部分はどこか、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字の中心を意識して書こうとしている。
七　点や画のつき方と交わり方 (P26-28) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ウ） ○点画の接し方と交わり方を理解して、漢字を書くことができる。	3	3	○「会」「公」「父」をなぞったり書いたりして、点画の接し方と交わり方を理解する。 ○点画の接し方と交わり方に注意して、「方角」「今回」などを書く。	【知識・技能】 点画の接し方と交わり方に注意する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 接する部分と交わる部分はどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 点画の接し方と交わり方を意識して、漢字を書こうとしている。
なぜ？なに？しょしゃのふしぎ なんの形からできたかん字かな？ (P29) ○様々な象形文字を知ることで、身の回りのものと文字との関わりに興味をもって文字を書くことができる。	適宜	適宜	○自然や人体を示す象形文字を確かめて、漢字の字形と具体的な事物との結び付きを理解する。 ○漢字の字形と具体的な事物との結び付きに興味をもって、漢字を書く。	【知識・技能】 漢字は、自然や人体など、身の回りの具体的な事物と結び付きがあるということを理解している。 【思考・判断・表現】 どんな形からできた漢字なのか、考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 字形と具体的な事物との結び付きに興味をもって漢字を書こうとしている。
八　点や画の間 (P30-31) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ウ） ○点や画の間の整え方を理解して、漢字を書くことができる。	3	3	○「王」「川」「里」などをなぞったり書いたりして、点や画の間の整え方を理解する。 ○点や画の間の整え方に注意して、「画家」「小鳥」「岩」「生」を書く。	【知識・技能】 点や画の間を等間隔にすると文字が整うということを理解している。 【思考・判断・表現】 間隔を整える部分はどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 点や画の間の整え方を意識して、漢字を書こうとしている。
九　二年生のまとめ (P32-35) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（イ）（ウ） ○二年生で学習したことを振り返り、文字を書いて確かめることができる。	4	4	○「ナッツ」「海外」「計画」「西」などをなぞったり書いたりして、二年生で学習した文字の書き方を確かめる。 ○二年生で学習したことに気をつけて、三年生の目標を書く。	【知識・技能】 二年生で学習したことを理解している。 【思考・判断・表現】 何を意識してそれぞれの文字を書けばよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 二年生で学習したことを活用して書こうとしている。
なぜ？なに？しょしゃのふしぎ えんぴつはどうやって作られているの？ けしゴムはどうやって作られているの？ (P36-37) ○鉛筆の製造行程や原料、歴史を知る。 ○消しゴムの製造工程や原料、歴史を知る。	適宜	適宜	○鉛筆の製造工程や原料の木、歴史について確かめる。 ○消しゴムの製造工程や原料、歴史について確かめる。	【知識・技能】 鉛筆と消しゴムの製造工程や原料の木、歴史を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 鉛筆と消しゴムに関連する様々な資料や情報に関心をもとうとしている。

単元名・ページ数・学習目標	時	配分	学習活動	評価規準
資料編 しょしゃのしりょうかん その一　たて書きとよこ書き (P38-39) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ア）（イ）（ウ） ○縦書きと原稿用紙のきまりと横書きのノートの使い方や数字の書き方を理解することができる。	適宜	適宜	○縦書きの原稿用紙と横書きのノートの使い方を理解する。 ○なぞり書きをして、算用数字の書き方を理解する。	【知識・技能】 縦書きと横書きの書式に違いがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 縦書きと横書きの書式の違いを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 縦書きと横書きの書式の違いや、数字の書き方を意識して、学習場面や日常生活で生かそうとしている。
その二　書きぞめをしよう (P40-41) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ア）（イ）（ウ） ○二年生で学習したことを生かして、書き初めをすることができる。 ○鉛筆以外の筆記具の持ち方を理解することができる。	3	1	○二年生で学習したことに気をつけて、書き初めをする。 ○フェルトペンとサインペンの持ち方は、鉛筆と同じであることを理解して、新年の目標などの言葉の試し書きをし、自分の学習課題を確認する。	【知識・技能】 「書き初め」という我が国の伝統文化があることを理解している。 【思考・判断・表現】 これまでに学習したことをどう活用すればよいのか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでに学習したことを活用して、書き初めをしようとしている。
		1	○二年生で学習したことと自分の学習課題に気をつけて、新年の目標などの言葉を練習する。	
		1	○二年生で学習したことと自分の学習課題を確認し、新年の目標などの言葉のまとめ書きをする。	
その三　水ふでをつかってみよう (P42-43) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ア）（イ）（ウ） ○水書用筆を使って、点画の書き方の違いを理解することができる。	適宜	適宜	○水書用筆の持ち方と、硬筆では判断が難しい点画の違いがわかりやすいという特徴を理解して練習する。 ○水書用筆で鉛筆の持ち方を確認する。 ○水書用筆を使って、点画を正しく書く。	【知識・技能】 水書用筆で、点画の書き方を再確認している。 【思考・判断・表現】 硬筆では判断が難しい点画の違いがどこか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水書用筆で学習した点画の違いを意識して、硬筆で書こうとしている。
その四　ひらがな・かたかなのひょう (P44-45) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ア）（イ）（ウ） ○平仮名・片仮名の五十音を、筆順や書き方に注意して書くことができる。 ○濁点と半濁点、平仮名・片仮名の拗音と促音、長音の大きさと位置に注意して書くことができる。	適宜	適宜	○これまでに学習したことに注意して、平仮名・片仮名を書く。 ○これまでに学習したことに注意して、平仮名・片仮名の拗音・促音、長音、濁点・半濁点を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した平仮名・片仮名の書き方を全て活用する必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの平仮名・片仮名に、どの書き方を活用するか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの平仮名・片仮名の書き方を意識して書こうとしている。
その五　二年生で学しゅうするかん字 (P46-47) ◎〔知識及び技能〕(3)ウ（ア）（イ）（ウ） 適宜 ○二年生で学習する漢字を確かめることができる。	適宜	適宜	○これまでに学習した漢字の書き方に注意して、二年生で学習する漢字を書く。	【知識・技能】 これまでに学習した漢字の書き方を理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの漢字に、どの書き方を活用するか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習場面や日常でも、それぞれの漢字を意識して使おうとしている。